

令和3年度 経済部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(経済部関係分)

政策 02	<h3>政策展開の方向性</h3>
産 業	<p>地域における活発な産業活動は、雇用を創出して活気のあるまちをつくります。 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を活かした都市型農業の推進、地域の特性を活かし、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などによって地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。</p>
	<h3>令和3年度の取組状況報告</h3>
	<h4>02-01 都市型農業の推進</h4>
	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域農業や生産性・安定性の高い農業経営を実現するため、国や北海道の制度を活用するほか、道央農業振興公社と連携し、農業の担い手の育成・確保や農地の集積を進めてきました。また、令和3年度における「農作物等販売実績」は、前年度と比較し3億8,100万円の減となりました。 ・市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、消費の拡大等を推進するため、黒毛和牛の精液購入費等への補助のほか、江別産小麦製品の維持・拡大に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の収量を一定程度確保するための補助を実施しました。また、江別産の農産物加工品をPRするブランド認証では、令和3年度には加工品の販売終了等もあり、更新も含め認定数は10件となりました。さらに、加工新商品開発等の支援補助や「都市と農村の交流センター」(えみくる)内のテストキッチンの活用を図ることで、生産者の6次産業化を支援してきました。 ・農業生産基盤の安定・向上を図るため、国営かんがい排水事業や道営事業により、農業用排水施設を整備したほか、地元からの要望等を踏まえ、計画的に排水路改修を進めました。また、鳥獣による農業被害の軽減のため、江別市鳥獣被害防止計画に基づき、地域保全会や鳥獣被害対策実施隊等により捕獲を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、市が支援する『江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会』が行う事業などにより、個別計画の進捗状況を示す「グリーンツーリズム関連施設の利用者数」は高い値となり、都市と農村の交流が図られました。また、第3次江別市食育推進計画に基づき、小学生の農業体験学習や小麦追跡学習等を行ったほか、中学生を対象にした「お弁当コンテスト」を4校で実施するなど、ライフステージごとの食育を推進しました。 ・短期の労働力を必要としている農業者に対し、新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト先の確保が困難となっていた大学生を雇用しやすくなるよう給付金を支給した結果、令和3年度は28件の申請があり、延べ141人の雇用につながりました。
	<h4>02-02 商工業の振興</h4>
	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点を目指し、市民の健康づくりと連携した食の臨床試験のボランティア基盤の拡大(令和3年度末現在13,025人)や実施体制構築への支援のほか、健康経営に関する普及啓発を行いました。 ・フード特区計画で掲げる食品の輸出増に向け、市内企業の海外販路拡大を支援するため、台湾江別フェア(出展企業8社)や海外バイヤーとのオンライン商談会(参加企業6社)を開催するとともに、企業自らが実施する海外への販路拡大に向けた取組に係る経費を支援したほか、江別の魅力を情報発信するため、外国人向けPR動画や外国語PRパンフレットを作成しました。 ・フード特区に関する取組や食関連産業の立地優位性などを首都圏企業等にPRするため、都内レストランでの「食と健康」をテーマにしたイベントの開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しました。 ・企業誘致促進と既存企業の事業継続支援による地域経済活性化、雇用の場の創出を図るため、食関連企業を中心とした企業等との協議(133回)を行い、江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助制度のPR等による誘致活動を実施しました。令和3年度は工業団地内に新たに2社の企業が立地しました。今後の工業用地の確保については、RTNパークの未造成地を活用できるよう地権者等と協議を行いました。 ・市のホームページ上に企業PRガイドを掲載し、市内に立地する企業の持つ技術や生産設備、製品・サービスなどの情報を市内外に発信しており、令和3年度末現在で47企業のPRガイドを掲載しています。今後、さらに市内企業間の連携や新規ビジネス、市場開拓の促進を図ります。 ・特産品等の販路拡大による市内企業等の経営基盤の安定やバイヤーとの繋がりによる地場産品の掘り起し・高付加価値化を図るため、商談会や催事への出展などを支援しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化した中小企業の経営の安定性を高め、生産力向上により地域経済の活性化を図るため、令和3年度は、江別商工会議所や金融機関と連携した各種融資制度を運営するとともに、市内企業・団体による経済活性化のための新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮したイベントの開催、研修・研究活動などを支援しました。 ・高齢化の進展など社会情勢の変化や地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進め、地域住民の利便性の向上や地域社会(コミュニティ)活動の拠点としての機能の向上を図るため、令和3年度は、補助金の活用等に係る周知活動や個別相談のサポートなどを通じ、多様な主体の参入を促しました。 ・就業機会の確保や職務能力向上に向けた支援を行い、市内企業が必要な人材を確保でき、求職者が希望に沿った就労ができる状態を目指すため、令和3年度は、総合型就労拠点施設「江別まちなか仕事プラザ」を活用し、女性・シルバー世代を中心とする求職者と江別市内企業のマッチングを行いました。また、求職者向けセミナーと合わせて企業の採用担当者向けセミナーを行うことで、求人企業・求職者の両面からの就労支援を行いました。

02-03 観光による産業の振興

江別市観光振興計画に基づき、関係機関等と連携し、次の取組を実施しました。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、着地型観光を推進し、少人数単位での周遊を促進するため、レンタサイクル事業の試行、市内周遊イベント「リアル謎解きゲーム」の実施、観光イラストマップの発行に取り組みました。
- ・市民と事業者の観光意識の醸成のため、聴講とワークショップの2部制からなる観光セミナーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、会場でのリアル参加とオンライン参加の併用により、参加しやすい環境を整備しました。
- ・食や農、歴史あるれんがややきものといった観光資源を活かし、市の魅力・認知度を向上させるため、大通BISSEでの食の промоーションイベントを開催したほか、産業連携による地元農産物を活用した新商品開発を支援しました。
- ・江別観光協会や地域おこし協力隊との連携によるSNS等を活用したイベントや飲食店等の紹介、江別アンテナショップGET'S及び市民交流施設における観光案内等により、江別市の魅力や観光関連情報を発信しました。
- ・広域観光の推進のため、加盟するさっぽろ連携中枢都市圏観光協議会でのインフルエンサーの招聘事業等への協力や近隣市町村で作成する子ども向けスポット紹介冊子(こどもパスポート)の発行等を行いました。
- ・江別観光協会が民間の観光推進体制の中心的組織となり得るよう、令和3年10月に市から独立し「えべつ観光協会」として法人格を取得するための支援を行い、「えべこレバスツアー」、「プレイングマネージャー養成講座」等独立後の事業についても、連携して取り組みました。
- ・地域おこし協力隊の継続任用のほか、令和3年度に国が創設した「地域プロジェクトマネージャー制度」を活用し、観光振興体制の強化を目的に、令和3年7月から地域プロジェクトマネージャー1名を任用しました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
農産物等販売実績(JA道央江別市分のみ)	百万円	4,521	4,974	5,304	4,923	↗
製造品出荷額等	百万円	85,201	95,505	96,846	令和4年9月 結果公表予定 (経済センサス)	↗
観光入込客数	人	768,000	1,190,090	1,361,201	1,216,970	↗

経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況

1経営体あたりの平均経営面積	a	1,409	1,769	2,101	2,101	↗
えべつの農産物加工品認定数	件	0	12	10	10	↗
農村環境の保全に取り組む団体数	件	7	9	9	9	↗
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000	596,862	545,905	615,351	↗
「企業誘致推進事業」 立地企業・事業所数	社	0	1	5	2	↗
「企業立地等補助金」 補助金交付件数(累計)	件	22	34	35	35	↗
「総合特区推進事業」 食関連企業の新増設数	件	0	0	1	0	↗
「商工業活性化事業」 補助金の活用件数	件	31	10	5	13	↗
「地域発見魅力発信事業」 主要観光施設の観光入込客数	人	126,000	335,981	274,249	271,619	↗

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	令和3年度の取組状況報告							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	・消費者被害に遭わず安心して暮らせる社会を目指し、令和3年度は、消費者からの相談に迅速かつ的確に対応したほか、江別市消費者被害防止ネットワークを開催することで関係機関と連携して被害の未然防止のための啓発に努めました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	85.1	83.3	81.0	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	54.2	58.9	52.1	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.3	93.9	93.0	↗
	経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「消費者保護育成事業」 消費生活相談件数		件	591	689	721	644	↘	

2. えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	①地域資源の発掘と活用 「江別アンテナショップGET'S管理運営事業」(観光振興課) 「地域発見魅力発信事業」(観光振興課) 「観光振興計画推進事業」(観光振興課) ②農畜産物の高付加価値化 「都市と農村交流事業」(農業振興課) 「江別産農畜産物ブランディング事業」(農業振興課)
戦略 2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり	
戦略 3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	①健康増進活動の推進 「総合特区推進事業」(参事 総合特区推進担当)

3. 経済部の資源

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	2,539,157	2,012,549	2,040,160	2,546,362	3,921,349
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,539,157	2,012,549	2,040,160	2,546,362	3,921,349
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	31.00	30.00	32.20	32.00	31.00
	平均単価 (b)	7,618	7,627	7,687	7,629	7,607
	人件費 (a×b)	236,158	228,810	247,521	244,128	235,817
総 額		2,775,315	2,241,359	2,287,681	2,790,490	4,157,166